

寄宿舎便り



令和5年3月1日発行
第15号
文責 伊藤



『鬼はそと～ 福はうち～』

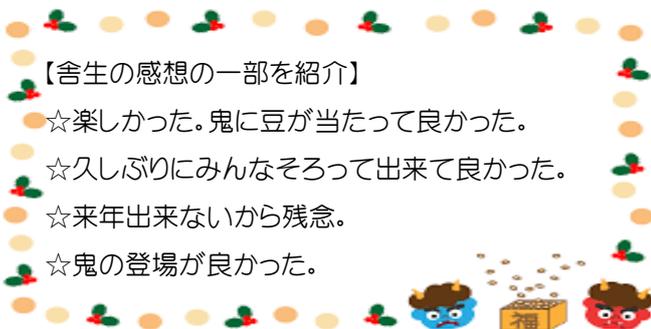


寄宿舎では節分当日が試験期間中ということで、3日遅れの2月6日(月)に豆まきを行いました。3年ぶりに共同教室で、希望者全員集まり豆まきことができました☆
今年『優しい』赤鬼と青鬼が、ロッキーのテーマに合わせ華やかに登場し、ステージ上へ。舎生は、ステージの周りに集まり、いざマツケンサンバの曲に合わせて豆まき開始！
『鬼はそと～福はうち～』と言いながら、豆をまきました。今回は、小袋に入った豆の他にも、舎生が手作りしたアルミホイル豆もまきました。みんな真剣且つ夢中で豆をまくので、すぐに豆がなくなります。でも、今年の豆まきは例年と違い、曲が止まると、豆拾いの時間です。舎生も職員も、優しい鬼も一緒に豆を拾い集め、またマツケンサンバが鳴り出すと、豆まき再開です。合計3回の豆まきタイムを終え、鬼たちは『また来年～』と言って帰って行きました。舎生からは『また来年来てね～』『優しい鬼さん、バイバイ～』と鬼を惜しむ声も聞かれましたが、鬼がいなくなり、きっと寄宿舎には福がたくさん訪れることでしょう。(甲斐)



【舎生の感想の一部を紹介】

- ☆楽しかった。鬼に豆が当たって良かった。
- ☆久しぶりにみんなそろって出来て良かった。
- ☆来年出来ないから残念。
- ☆鬼の登場が良かった。





♪ 卒業生へのプレゼント渡し ♪



2月13日（月）、16時から女子棟で卒業生へのプレゼント渡しを行いました。卒業生4人と担当の先生4人が入場！！在舎生、職員が拍手で出迎えました。担当の先生からそれぞれにコメントとともにメッセージなどのプレゼントを渡されました。卒業生は、笑顔でとてもうれしそうでした。卒業生にインタビューを行い、「ありがとうございます。」「うれしいです。」「ハッピーです！」などの答えが聞かれました。続いて、サプライズで手作りくす玉を準備していたので、卒業生に引っ張ってもらい、割りました。無事成功し、手作りした職員も一安心でした。みんなで記念写真を撮り、名残惜しく終了しました。別れの時が迫っている寂しさもありながら、みんな楽しい時間を過ごすことができました。（中村）

入場



くす玉割れたよ！



プレゼント渡し



インタビュー





感染症拡大防止協力 お礼



感染症拡大防止におきましては、日頃より、舎生・保護者の皆様の御理解御協力、感謝いたしております。

いまだ増減は繰り返しておりますが、感染者数は減少し、県リスクレベルも「1」と下がりました。徐々に緩和の動きも見られ、少しほっとしているところでもあります。

卒業生の皆様におかれましては、この3年間、感染拡大防止のため、毎日3回の検温や健康観察、手洗い消毒、マスク着用や黙食など、御理解御協力いただき、大変ありがとうございました。卒業後も、引き続き、健康に留意され、元気に活躍されますことを心より祈っております。

また、生活が落ち着かれましたら、寄宿舍にも遊びに来てくださると嬉しいです。元気に会える日を楽しみにしております。(原田)

3月行事予定

- 1日(水) 高等部卒業証書授与式
- 6日(月) 合格発表
- 8日(水) 合格者説明会
- 10日(金) 幼小中卒業証書授与式
- 24日(金) 修了式
- 25日(土) 学年末休業日



～ 編集後記 ～



高等部卒業生の皆さんにとって、これが最後の「寄宿舍便り」となりました。この1年間、皆さんに寄宿舍の様子や行事をわかりやすく、お伝えできるよう作成してきましたが、いかがでしたでしょうか？

卒業後は、それぞれの道で生活されると思いますが、寄宿舍で培った力を新しい場所でも十分に発揮されてください。

ご卒業おめでとうございます

(伊藤)

